

中学期からの瞼・胸部浸出症状を経て日常の悩みが減った成人アトピーの経過 (27 歳 女性)

症例 ID：001-20-KM4 | 記録日：2015 年 6 月 12 日

1. 診断・治療前経過

中学期から瞼と胸部にかゆみがあり、高校・大学期に悪化しました。瞼は赤く腫れて痛痒く、乳輪は浸出液と出血を伴いました。

社会人 2 年目には深夜までの仕事が続き、瞼の腫れと胸部症状がさらに強くなりました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	複数の皮膚科で外用薬を処方され、症状の強い時にステロイドを使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	中学期から 25 歳頃まで断続的に使用しました。
中止時期	25 歳の夏の松本医院受診時期です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
中学期	発症	瞼と胸部にかゆみが出ました。
高校～大学期	悪化	瞼の腫れと胸部の浸出液、出血が強くなりました。
社会人 2 年目	生活への影響	深夜勤務とともに症状が悪化しました。
25 歳夏	治療開始	松本医院を受診しました。
治療経過中	症状の波	良い時期と悪い時期を繰り返し、瞼は化粧時に痛む日もありました。
記録時点	経過中	胸部の症状は日常的に悩むことがほとんどない程度となりました。右手小指には浸出症状が残っていました。

4. ピーク時期

ピークは、高校から社会人期にかけて、瞼が赤く腫れ、胸部に浸出液と出血が続き、衣類の着脱にも痛みがあった時期です。

5. 困りごと

- 下着が浸出液と血で汚れ、ガーゼによる保護が必要でした。
- 外見への不安があり、将来の妊娠・授乳について心配していました。
- 瞼の痛みで化粧が難しい時期がありました。

6. 経過のまとめ

治療後も瞼や手には症状の波が残りましたが、胸部のかゆみと浸出液は日常的に悩むことがほとんどない程度となりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。